

令和7年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 7 年 8 月 29 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 岡山理科大学科学ボランティアセンター
氏 名 センター長 高原 周一

令和7年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「子どもと一緒に未来を描けるまちづくり」

取組の名称	大学生による子どもの科学体験活動の提供
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを300字（句読点含む）以内に記載してください。	岡山理科大学科学ボランティアセンターは 2008 年の設立以来、地域の団体・個人と協働して、岡山市内を中心に学生主体の科学イベント等を実施してきた。特に、2013 年に「人と科学の未来館サイピア」がオープンしてからは、月に 1 回のペースで「理大の日」という企画を実施し、子ども達に多様な科学に関する体験活動を提供してきた。本取組により、岡山の子どもたちに質の高い教育を提供し、科学への興味・関心を高めることに貢献した。大学生が主体となって活動することで、大学生自身の成長を促すとともに、地域で科学ボランティア活動を牽引する人材を育成してきた。本活動は、岡山の将来を担う理工系人材の育成にもつながると考えている。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	集計結果が残っている 2018～2024 年度（計 7 年間）の岡山市内での取組実績は、科学イベント実施件数 464 件（年平均 70 件程度）、科学イベント参加者 48,156 人（年平均 7,000 人程度）、スタッフ学生延べ人数 4,242 人（年平均 600 人程度）である。それぞれのイベントの参加者および協働団体（イベント依頼者）の満足度は高く、子どもたちの科学への興味・関心を高めることができた。科学ボランティアセンターの取組に参加している学生の中には、子どもたちの科学ボランティアセンターのイベントにお客さんとして参加していて、今度は自分が子ども達に科学の楽しさを伝えたいという者もいて、好循環が生まれている。地域の中高生のボランティア希望者もスタッフとして受け入れている（年間延べ 10 名程度）。卒業後も地域で科学イベント等の社会貢献活動を実施している者も出てきており、ボランティアマインドをもった地域人材を育てることにもつながっている。学内制度と地域との協働体制が整い、持続可能なシステムを構築できた。今後も継続的に活動することで、さらなる効果が見込まれる。

●次の書類等を添付してください。

①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式2〕取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）1枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	大学生による子どもの科学体験活動の提供
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 学校教育だけでは不足しがちな実験・観察等の多様な科学体験活動を提供し、社会教育の質を向上させている。就学前から小中高までの子どもに、発達段階に応じた体験的な学びを提供している。特別支援学校等にも出向き、科学体験活動に参加しづらかった子どもへのアプローチも行っている。子どもの科学への興味・関心を高めるとともに、ボランティアで地域貢献する大学生がロールモデルとなることで、子どもの健全育成に寄与している。また、岡山市の地域課題でもある理工系人材の育成も目指している。
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 理工系の進路に進む子どもが少なくなっている（いわゆる「理工離れ」）なか、子ども達に理科の魅力を伝えることは重要な課題である。この課題を解決するために、理工系を中心とする本学が、多数在籍する理科好きの学生の力で、地域の子供達に多様な科学に関する体験の機会を提供することが、本取組の目的である。また、取組に参加する学生の成長と地域の科学ボランティア活動を牽引する人材の育成も目指している。
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 対象地域は主に岡山市であるが、それ以外の地域での活動も行っている。 対象者は主に幼児・小学生であるが、中学生・高校生対象のイベントも行っている。 各イベントの対象人数は30名程度のことが多いが、100名を超える大型イベントを実施する場合もある。 イベントは年間70件程度行っている。イベントの参加人数は年間平均7,000人程度である。 2 活動内容、実施方法など 活動内容は子どもを対象とした体験活動を含む科学イベント（科学教室も含む）の実施である。内容は、理科（物理・化学・生物・地学）に関するものが中心であるが、担当する学生スタッフの専門に合わせて数学、工学、情報、環境、防災などの内容も実施する。主な実施方法は以下のとおりである。 ・科学イベントの主催 「サイピア理大の日」「岡山理科大学で学ぶ自然教室」など ・地域から依頼された科学イベントの実施 ・地域で実施されるイベントへの出展 特に岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピアでの活動は、サイピア開館当初から13年間お互いの強みを生かし、サイピアでは会場や機器の提供と集客宣伝を、科学ボランティアセンターからは科学ブースや科学ショーの企画運営を行い、年9回のサイピア理大の日では毎回2時間で120人以上の参加が、フェスティバルでは延べ4日間で1,000人以上の参加がある。 地域からのイベント実施依頼を受けて、ホームページなどでボランティアの募集を行っている。スタッフは基本的には本学学生であるが、中高生のボランティアも受け入れている。必要に応じて教職員が事前講習・当日補助を行うなどして活動をサポートしている。 他のボランティア団体等との情報交換・交流なども行っている。特に、順正学園ボランティアセンターとは協働して子ども向けのイベントおよび研修会を行っている。 3 工夫した点や取組の特徴 本取組の最大の特徴は、学生主体のイベントを実施することで、地域貢献活動と学生教育を結合している点にある。多く学生（年間延べ600人程度）が参加することで多数のイベントの実施が可能となる。子どもと年齢の近い学生がイベントを行うことで、子ども達に専門的な学びと社会貢献のロールモデルを示すことができる。参加した学生はコミュニケーションスキル等の様々な能力が獲得でき、将来的には地域のボランティア人材として活躍することが期待される。 「科学ボランティアリーダー養成プログラム」として正課科目（6科目）を開講し、所定の単位を修得した学生に大学として修了認定証を与えるなど、全国的にも例のない活動の質保証を行っている。 協働団体確保のためホームページでボランティア派遣依頼（イベント実施の申込）を受け付けている。2018年4月～2025年8月の期間に岡山市内のイベント実施で協働した団体は74団体に上り、地域からのニーズは高い。協働団体とは事前協議で役割分担を明確にするとともに、事後アンケートを回収して取組改善に役立っている。 本取組は本学の学生（特に教員志望学生）のニーズに合致しており、恒常的に学生スタッフが確保できている。また、学内体制や地域の諸団体との連携体制も構築でき、長年に渡る持続的な取組が可能である。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。 https://ridai-svc.org/ https://www.instagram.com/ous_svc_2024/ https://www.facebook.com/OUS.SVC https://x.com/oussvc2008

取組の実施期間	始期： 2008 年 11 月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに ☒ し必要事項を記入してください。
今後の活動展開など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 今後も活動を継続し着実に成果を積み上げていきたい。また、新たな展開として以下のようなことを考えている。 ・学内宣伝の強化による学生スタッフの増員 ・本学学生向けの科学ボランティア活動マッチング会の開催 ・地域に向けたホームページ等による情報発信の強化 ・科学ボランティアセンター学生スタッフ OB・OG の組織化と研修機会の提供	

協働による効果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 イベントを依頼していただいた協働団体にはイベントの広報活動、イベント当日の運営補助、必要経費のご負担等をしていただき、当センターの負担軽減になっている。また、事後の振り返りやアンケート回収により、取組改善の示唆をいただいている。 サイピアに関しては、これに加えて「サイエンスインストラクター養成講座」等により学生への研修もしていただいております、併せてサイピア登録のサイエンスインストラクターの活動補助を行うことで、活動と各個人の質向上につながっている。 他のボランティア団体とのイベントの共同実施・交流により、多様な視点や組織運営のノウハウなどを学ぶとともに、学生の活動参加のモチベーションが向上している。 以下に継続的な協働関係にある主な協働団体を示す。	
協働団体とその役割	団体名	岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	一般公開の科学イベント「理大の日」（年 9 回）等の実施場所・機材の提供、材料費等の支出、宣伝、「サイエンスインストラクター養成講座」等で学生への研修
協働団体とその役割	団体名	順正学園（吉備国際大学）ボランティアセンター
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	人と科学の未来館サイピアでのイベントおよび吉備国際大学での研修会を当センターと協働して実施
※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。	団体名	岡山県ボランティア・NP0 活動支援センター（ゆうあいセンター）
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	「大学ボランティアセンター連絡会」の実施による他大学のボランティアセンター等との情報共有、学生へのボランティア情報の提供
※足りない場合は欄を追加してください。	団体名	トライ式高等学院 岡山キャンパス
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	実験等の体験が難しい通信制高校生徒に対して岡山理科大学で行う実験体験企画への参加を募集、岡山理科大学までの引率
	団体名	岡山市西大寺ふれあい児童館
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	夏休みの児童館イベント「わくわく科学教室」におけるイベント実施機会の提供、運営費の支出、宣伝など
	団体名	みどりクラブ
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	学童保育児童に対する 100 人規模のイベント実施機会の提供、材料費等の支出

団 体 名	岡山子育て応援団パピママ
団体種別	☐ 住民自治組織 ☒ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
役 割	一般公開企画「パピママドリームタウン」においてイベント実施機会の提供、材料費等の支出、宣伝
団 体 名	岡山刑務所
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☒ 行政 ☐ その他（ ）
役 割	一般公開企画「岡山地区矯正展」におけるイベント実施機会の提供、材料費等の支出、宣伝
団 体 名	正福寺
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（宗教団体）
役 割	「正福寺夏休み寺子屋」におけるイベント実施機会の提供、材料費等の支出、宣伝など
団 体 名	株式会社ビザビ
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
役 割	株式会社ビザビが企業・行政から委託されて企画運営する一般公開大型イベントにおける科学ショー・実験ブース出展機会の提供、材料費等の支出、宣伝 実施例として、イオンモール岡山における「ハレマチ自由研究フェスタ」、「未来わくわく SDGs フェスタ」（いずれも 2025 年 8 月実施）など
団 体 名	公益財団法人 八雲環境科学振興財団
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（公益財団法人）
役 割	「環境科学の啓発に関する助成事業」を通じた環境教育関係の企画への資金提供
団 体 名	
団体種別	
役 割	